

入居者インタビュー

『やりたい事がある、それが元気の秘訣かしら』

藤野れい子様 (78歳)



65歳でパンフラワー講師資格を取得

主人の定年を期に、京都から藤枝に引っ越しをしました。その時すでに主人は癌を患っていたのです。副作用が激しくて、みている私も本当に辛い思いもしました。自宅で看とつた後、生きる希望もなく毎日ボーっと過ごしていました。その変わり果てた姿を見て息子も大変心配しました。私は58歳でした。

そんな時、主人の担当医の奥様に声をかけていただき、パンフラワーに出会ったのです。粘土を自分の手でのばしたりちぎったりして花びらや葉を一枚ずつ作り上げ一つの作品にしているのにならぬと、教室を開きた

い、と希望が湧いてきて、教室に通い本格的に習い始めました。

65歳で講師の資格を取得し、自宅に念願の教室を開く事ができた時は嬉しかったです。アットホームな雰囲気の中、自分の好きな事を教えてあげるのが、とっても楽しかった事を思い出します。

将来の安心が入居の決めて

主人と親の介護を経験していたので、その大変さは身にしみてわかっていました。「自分の人生、自分で決める！家族には辛い思いをさせたくない」と思っていました。温泉と自然豊かな環境、何よりも、いざという時には職員さんがいるし、診療所にも歩いていけるでしょ、

こんなに安心な事はないじゃない。だから、入居を決心するまで時間はかかりませんでした。

趣味を続けられる幸せ

入居のために一旦は諦めようとしたパンフラワーですが、職員さんに「諦めないで」と強く後押しされました。別の職員さんからは、パンフラワーを教えてほしいと頼まれました。それがきっかけで、サークル「〇・フローラ」をたちあげることが出来たのです。今では8名のメンバーで創立祭の作品展に向けて頑張っています。続けることができてよかったです。感謝しています。



サークルで教える藤野さん(右)

「〇・フローラ」の〇は、和(わ)と読みます。平和の和、皆で楽しく活動していきたいという想いから、この名前をつけられたそうです。



パンフラワーサークル「〇・フローラ」

これから挑戦したい事

これからやりたい事がまだあるのよ。それは、折り紙とピアノ。両方、本格的にやったことがないけれど、だからこそ面白いと思うの。欲張りかしら？でも、いろんなことに挑戦したいと思うから元気でいられるのかもしれないわよね。